

「好きこそものの上手なれ」

おはようございます。

今日の登校日で42日間の夏休みも残すところあと12日となりました。残暑の続く毎日ですが、自分の専攻実技の向上や夏休みの宿題、普段できないことへの挑戦、三年生は進路に向けての準備等々、計画どおり捗(はかど)っているのでしょうか？

さて、日本時間で8月6日(土)～22日(月)まで開催されているブラジルのRioオリンピックですが、今朝8時現在、金12個、銀6個、銅18個と計36個と前回は上回るたくさんのメダルを獲得している日本人選手の活躍は、皆さんもテレビや新聞で見ていることと思います。今回のオリンピックには皆さんと同年齢の高校生や大学生、20代の選手が大勢出場していますね。私も同じ日本人としてとても誇らしく思うと同時に、ひとつのことにひたむきに打ち込んできた練習の凄さとやりきったことへの達成感と充実感、目標に届かなかった悔しさ、そして東京オリンピックに向けて更なる決意等々、テレビの画面でインタビューされる選手の言葉に感動しています。

各競技に出場している選手は、この日のために人一倍練習を積み重ねて試合に臨んでいると思います。輝かしいメダルの裏には、「思うようにできないことに悔しくて涙したことや苦しくてもうやめようと思ったこともあるけれど、好きな競技○○○だからこの日のために日々の厳しい練習に耐え、自分の限界に挑戦してきた」と言っている選手もいました。また、指導してくれる監督やコーチ、共に戦う強いライバルの存在、応援してくれる家族や友人がいたことも厳しい練習に耐えられた要因のひとつかもしれません。

その中で、私が特に印象に残ったのは、女子レスリングの伊調馨選手の言葉です。オリンピック4大会連続個人種目で金メダルという世界初の偉業を成し遂げながら、インタビューでこらからのことを聞かれると「自分は練習が好きだからこれからも頑張りたい」と言っていました。まさしくことわざにある「好きこそものの上手なれ」そのものを感じました。

皆さんは、日音で音楽・バレエ・舞台芸術・幼児教育とコースごとと学んでいます。1学期終業式に、練習は「一日休むと取り戻すのに三日かかる」というお話をしました。この休み中に様々なコンテストやコンクールに出場して、入賞した生徒もいると聞いています。自分の専攻については、いつ、どこで、何を、どのくらいやるか自分自ら具体的な練習を決め、大きな夢が目標となるように一日一日を大切に、そして好きな自分の専攻は練習をしないと一日が終わらないという気概をもって頑張っしてほしいと思います。自分に甘く頑張りが足らなかったと思う人は、是非今日からでも気持ちを入れ替えてください。

また、9月からは本校の伝統になっている「サウンド・オブ・ミュージック」の練習も本格化していきます。今年も感動を呼ぶ舞台となるようさらなる質の向上を目指して、全校生徒・先生方みんなで作っていきましょう。

最後に、9月1日の始業式にはさらに心身ともに大きく成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。まだまだ体温を越すような残暑が続きます。熱中症にかからないように水分補給と休養を取りながら、残り少なくなった夏休みを有意義なものにしてください。

以上で、私の登校日のあいさつとします。